

太刀礼賛

展示作品目録

令和七年十二月十二日（金）～令和八年二月二十三日（日）

「 刀 剣 」

	指定	種別	銘別	名称	刃長（cm）	反り（cm）	時代	国	備考（伝来等）
1	重要美術品	太刀	銘	備前国友成	七四・九	二・〇	平安時代後期	備前国	寛永寺旧宝
2	重要刀剣	太刀	銘	助近造	七〇・〇	二・六	平安時代末期 鎌倉時代初期	備前国	
3	特別重要刀剣	太刀	銘	備前国包平作	七二・七	一・四	平安時代末期 鎌倉時代初期	備前国	館林藩秋元家伝来
4	特別重要刀剣	太刀	銘	備前国末行	七二・四	一・七	平安時代末期 鎌倉時代初期	備前国	
5	重要美術品	太刀	銘	順慶	七七・九	三・〇	平安時代末期 鎌倉時代初期	備前国	喜連川藩 喜連川家伝来
6	重要美術品	太刀	銘	利恒	七〇・五	二・〇	平安時代末期 鎌倉時代初期	備前国	
7	重要美術品	太刀	銘	基近造	七〇・二	一・八	平安時代末期 鎌倉時代初期	備前国	
8	特別重要刀剣	太刀	銘	則成	七〇・六	二・四	鎌倉時代初期	備前国	
9	重要刀剣	太刀	銘	次家	七二・四	一・八	鎌倉時代初期	備中国	
10	特別重要刀剣	太刀	銘	守利	七七・二	二・五	鎌倉時代初期	備中国	
11	重要文化財	太刀	銘	次忠	七九・〇	二・六	鎌倉時代初期	備中国	
12	重要文化財	太刀	銘	一 助成造	七四・七	二・五	鎌倉時代初期	備前国	大久保一翁旧蔵
13		拵		黒蠟色三つ巴紋散螺鈿鞘糸巻太刀拵			江戸時代後期～明治		⑫に附属
14	資料			古製太刀絵図			江戸時代		網屋刀剣資料 コレクション
15	重要刀装	拵		金梨子地葵紋散蒔絵鞘糸巻太刀拵			江戸時代前期		徳川将軍家伝来
15	重要刀剣	太刀	銘	守家造	七一・八	三・二	鎌倉時代中期	備前国	
16	特別重要刀剣	太刀	銘	延吉	六八・八	二・二	鎌倉時代中期	大和国	犬養毅（木堂）旧蔵
17	重要刀剣	太刀	銘	備前国長船住左近将監長光造 永仁五年三月日	七四・六	二・五	鎌倉時代後期 永仁五年（一二九七）	備前国	
18	重要美術品	太刀	銘	大和則長（以下切れ）	七〇・〇	二・六	鎌倉時代後期	大和国	徳川将軍家伝来

19	重要刀剣	太刀	銘	国宗	七四・〇	二・四	鎌倉時代後期	備前国
20	特別重要刀剣	太刀	銘	了戒（号 武蔵了戒）	八五・四	二・〇	鎌倉時代後期	山城国 宮本武蔵所用
21	重要刀剣	太刀	銘	宇多国房	八八・三	三・一	南北朝時代	越中国
22	重要刀剣	太刀	銘	友次	八〇・三	三・六	南北朝時代（室町時代初期）	越中国
23	重要美術品	太刀	銘	宇多国房	七〇・五	二・〇	室町時代初期	越中国
24	重要美術品	太刀	銘	来国末	七三・〇	一・九	鎌倉時代後期	山城国 庄内酒井家伝来
25		太刀	銘	法廣 平成二十八年弥生	七〇・四	二・二	平成二十八年（二〇一六年）	長野県
26		太刀	銘	清廣 平成二十八年二月日	七三・三	二・六	平成二十八年（二〇一六年）	福井国 平成二十八年度新作名刀展 高松宮記念賞受賞作品

【刀装・刀装具】

指定	種別	名称	指定	種別	名称
重要刀装具	鐺	桐文散鐺 無銘 古美濃	重要刀装	拵	金梨子地葵紋散蒔絵鞘糸巻太刀拵
	鐺	七宝文螺鈿鐺 無銘 仙田		拵	黒石目地塗鞘七福神図金具脇指拵
重要小道具	鐺	虫喰図鐺 無銘 山金		拵	銀泥塗勝虫文鞘糸巻太刀拵
重要小道具	鐺	三階松透鐺 無銘 又七			

【備考】指定について

重要文化財とは、文化財保護法に基づき日本国政府（文部科学大臣）が指定した文化財  
重要美術品とは、文化財保護法施行以前に、旧「重要美術品等ノ保存ニ関スル法律」に基づき日本政府（文部大臣）が認定した有形文化財  
特別重要刀剣とは、公益財団法人日本美術刀剣保存協会が、重要美術品に相当する、または重要文化財に準ずる価値があると判断されて指定した刀剣  
重要刀剣とは、公益財団法人日本美術刀剣保存協会が、重要美術品に準ずると判断されて指定した刀剣  
重要小道具とは、公益財団法人日本美術刀剣保存協会が、重要美術品に準ずると判断されて指定したものの。